

# 中学生の「税についての作文」優秀作品 『関東信越税理士会十日町支部長賞』

## あたりまえを作る税金

新潟県立 津南中等教育学校 3年  
齋 藤 友 愛

朝起きて顔を洗い、着替え、朝食を食べて身支度をする。学校へ行き勉強をして帰宅し夕食を食べお風呂に入って寝る。これは、私の普段の生活です。私は十四年間この生活を送り続けているためこれがあたりまえだと思っていました。しかし、今回の租税教室を通して日常生活の見え方が変わりました。

あなたは税金は必要なものだと思いますか。またどのようなイメージを持っていますか。

税には様々な種類があり、消費税や所得税の他にもたばこ税や酒税など意外な所に税が課せられていて、国民から公平に税をとっています。これらの税金は私たちの生活を助けてくれているのです。例えば、教育です。日本では、小学校で六年間、中学校で三年間の計九年間、教育を受けることが義務付けられています。この九年間に一人あたり約884万円の税金が使われています。それらは主に、配布される教科書などに使われているそうです。

また、普段何気なく使っている水道水にも税金が使われています。生活の中で、料理や洗顔、お風呂などに使われる水道水は切っても切れない関係です。なので一日を過ごすためには税金は欠かせない存在なのです。

豪雪地域として有名な十日町地区では、冬になると至る所で黄色の除雪機を見かけます。実は、これにも税金が使われています。例年私の下半身ほど雪が積もるため、私たち市民にとってとてもありがたいものです。

このように、私たちの生活の様々な所に税金は使われていて、国民が公平に払い公平に使われるように循環しているのです。反対に、この世界に税がなくなったら私たちの生活はどのようなのでしょうか。水も使えず、道路にはゴミが散乱して裕福な家庭だけが学校に行き、冬には道路が機能しない状態になります。考えるだけでゾッとします。

私は今まで、税に対してマイナスなイメージを持っていました。しかし、租税教室やこの税の作文をきっかけに税はマイナスなことばかりでなくむしろなくてはならないものだと感じました。

私が目にする報道では私と同じように税はマイナスというイメージで扱われています。しかし、税には生活を助けてくれるというプラスの部分がたくさんあります。そのような報道が絶えないのは税のある生活をあたりまえだと思い、私たちの生活に税が多く使われていることを棚にあげ、払わされているという感覚が染みこんでいるからです。

この先税の問題について議論する際はマイナスの面ばかりではなくプラスの面も視野に入れることが必要だと思います。

私は、税はあたりまえの生活をするための貯金であるにとらえています。「あなたは税金は必要だと思いますか。」と言われたら自信をもって「はい!」と答えたいです。